

卒業研究 1（地域医療薬学分野）

責 任 者・コーディネーター	臨床薬学講座地域医療薬学分野 松浦 誠 教授
----------------	------------------------

・ 教育成果（アウトカム）

今後迎える超高齢化社会において岩手県および東北地方が直面している地域医療や健康課題、東日本大震災後の長期的な健康問題について、日本の医療制度・社会保障制度の特性を踏まえるとともに、海外の医療制度や地域医療の取り組みとの比較を通じて客観的・多角的に理解し、社会的・行政的背景を含めて構造的に把握できるようになる。その上で、地域医療に内在する課題を抽出し、因果関係の仮説設定、実情調査、数値化、検証、妥当性評価といった科学的思考プロセスを社会科学的研究に適用できる能力を修得する。さらに、生成 AI（ChatGPT 等）の特性と限界を理解した上で、生成 AI が提示する医薬品情報を医療用添付文書や公的資料、海外ガイドライン等と比較・検証し、その信頼性や潜在的リスクを批判的に評価できるようになる。これらの検討を通じて、地域住民の医薬品理解向上および安全な薬物療法の実現に資する解決策を、薬剤師としての専門性と社会的責任を自覚しながら提案・発信できる能力を養う。また、研究成果については研究報告会や研修活動、学会発表等を通じて発信し、地域医療に関わる多職種や一般市民との対話を意識したプレゼンテーション技能およびコミュニケーション能力を涵養する。（ディプロマ・ポリシー：1,3,4,5,6,7,8,9）

・ 到達目標（SBO）

1. 地域医療における薬剤師の役割について事例をあげて説明ができる。（☆）
2. 研究には自立性と独創性が求められていることを知る。（1062）
3. 現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる。（1063）（知識・技能・態度）
4. 新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。（1064）（態度）
5. 自らが実施する研究に係る法令、指針について概説できる。（1065）（態度）
6. 研究の実施、患者情報の取扱い等において配慮すべき事項について説明できる。（1066）
7. 正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。（1067）（態度）
8. 研究課題に関する国内外の研究成果を調査し、読解、評価できる。（1068）（知識・技能）
9. 課題達成のために解決すべき問題点を抽出し、研究計画を立案する。（1069）（知識・技能）

・ 実習日程

コマ数	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
60	地域医療薬学分野	松浦 誠 教授	① 地域医療課題の把握と科学的思考プロセス 岩手県・東北地方における超高齢化社会や震災後の健康問題を題材に、地域医療・行政課題を整理する。社会科学的研究においても、因果関係の仮説設定、実情調査、数値化、検証、妥当性評価という科学的思考プロセスを適用する方法を学ぶ。 ② 生成 AI を用いた医薬品情報の信頼性評価 生成 AI（ChatGPT 等）の仕組みと特性、限界を理解した上で、生成される医薬品情報を医療用添付文書や公的資料と比較し、正確性や問題点を検証する。副作用、禁忌、社会問題化する医薬品情報を題材に批判的評価力を養う。

			③ 研究成果の社会還元と薬剤師の責任 研究結果を基に、一般市民の医薬品理解向上と安全な薬物療法につながる解決策を検討する。成果を論理的かつ分かりやすく発信する力を身につけ、医薬品情報を扱う薬剤師としての専門性と社会的責任について考察する。
--	--	--	---

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（Apple MacBookAir）	1	スライド投影のため
講義	タブレット端末（機種は問わない）	1	資料（PDF 形式）閲覧のため